

JA 菊池の取り組み

農業所得アップをめざして

【有利販売対策強化】

- まんまプレミアム商品（特選品）の開発と販路の拡大を図っています
（イチゴ・スイカ・メロン・ゴボウ・アスパラガスの5品目）
- 消費地量販店における部会女性部による対面試食宣伝会の実施や、都市圏でのJA 菊池フェア開催により信頼される商品づくり消費拡大に努めています
- 6次産業化等による加工品（フェスタメロンゼリー・スイカパウダー）の開発に着手し、販路の拡大を図っています
- タブレットの活用により、情報を共有し予約相対取引の拡大を図っています
- 飼料用米を利用したJA 菊池独自ブランド「えこめ牛」を発表し、都市圏および県内への定着による販路拡大に努めています

【生産コスト低減対策】

- 低コスト汎用性肥料、独自ブランド（PB）資材の取り扱いを新たに実施しています
- 園芸作物用農薬特別予約価格を設定し、品目数を拡大しています
- 肥料、農薬を対象に供給高割合で、大口農家対策奨励措置を実施しています

【各種補助事業の活用】

- 産地パワーアップ事業を活用し、耐抗性ハウス・部材の導入・選別機・結束機を導入し、基盤の強化・労働力の軽減に努めています
- 畜産クラスター事業を活用し、キャトルブリーディングステーション事業所を建設し、肥育素牛の管内取引による一定量の安定供給と繁殖牛頭数の拡大に努めています

すみよい地域社会をめざして

【食農教育への取り組み】

- 食と農業の理解を深め、農業の大切さや素晴らしさを広める活動を行っています
（まんまキッズスクール・家の光クッキングフェスタ・食農教育推進シンポジウム・光の森地区を対象とした食農祭、収穫体験・ファームステイなど）

【地域の活性化への取り組み】

- 組合員や地域住民の方々とのふれあいを促進する活動を行っています
（支所を拠点とした感謝祭、収穫祭・ふれあいの旅・グラウンドゴルフ大会・ミニマルシェ・組合員一斉外務など）

【地域づくりへの取り組み】

- 地域社会の活性化を図り、人々の絆を深める活動を行っています
（地域イベントへの参画・卒業生を祝う会・自治会／学校／PTA／その他地域団体との連携など）

【くらしの相談活動】

- くらしにおける様々な問題を共に解決する活動を行っています
（弁護士相談会・税金相談会・年金相談会・各種ローン相談会・介護相談ほか）

【広報活動の取り組み】

- 農業やJAに対する理解促進を図るため、タイムリーかつ有益な情報の発信を行っています